

薬師寺食堂出土の瓦磚類

―第500次

薬師寺食堂出土の瓦磚類について報告する。発掘調査は2012年度に実施した（平城第500次）。調査の概要は『薬師寺―旧境内保存整備計画にともなう発掘調査概報Ⅰ』2013年（以下『概報』と略す）、『紀要 2013』において報告した。しかし、出土した瓦磚類の総量が極めて多く、概要報告時点では整理作業が未完であった。この度、瓦磚類の整理が終了したので以下に報告する。

薬師寺出土軒瓦の型式番号は『薬師寺報告』に準拠する。今回新型式を設定するにあたり、既存の型式番号と類似した文様の軒瓦については、型式番号の後にアルファベットをつけて区別した。既存型式をA、新種はB、Cとした。新型式の番号は将来、型式一覧作成時に改めて再構築することを期し、今回は暫定の番号とする。

軒丸瓦 図293・1・2は中房の蓮子が二重以上、複弁八弁で独立間弁、外区内縁の珠文帯の内外に圈線があるなどの点が共通する。しかし、中房の蓮子数と蓮弁の大きさの違いから、既存型式を37A（1）、新出資料を37B（2）とした。3、4、5は単弁六弁で珠文帯を巡らす小型の軒丸瓦である。76A（3）は弁端が尖り外区内縁に接して内縁より高く反り上がる。外縁には輻射文を飾る。76B（4）は第223-3次調査（宝積院）出土の新種で、子葉が76Aより長く先端が尖り、蓮弁端は外区内縁に接するも反り上がらない。76C（5）は新出資料で、弁端を丸く納めるが稜線の先端は外区内縁より高く突出する。76B・Cには輻射文はない。6は単弁八弁、蓮子1+6の興福寺食堂38型式と、7は2片が接合し、単弁十七弁で中房周囲に蕊を飾る興福寺食堂40型式と同範であろう。以上は平安時代の瓦である。

8は左巻二巴、外区に珠文、珠文の外に圈線はなく、巴頭は分離する。1点出土。こうした特徴は105・106型式に近いが、巴尾が圈線と連結しない点が大きく異なるため、既存型式の新種とはしなかった。9・10は左巻三巴、外区内縁は珠文、珠文外の圈線なし、巴頭が接し巴尾は連結して圈線となる。既存の154A（9）に近いので、新出の10を154Bとする。鎌倉時代の瓦であろう。

軒平瓦 11・12・13は小型の軒平瓦である。文様は左右3回反転の均整唐草文で上外区のみ珠文を飾る。こ

の特徴は既存型式の273A（11）と共通するが、新出の273B・C（12・13）は左右第3単位が主葉のみとなり、BとCは支葉の様相が異なる。瓦当の大きさから76型式と組み合わせる可能性が高い。新出の281B（15）は外区が無文の宝相華唐草文で、281A（14）によく似るが、中心の宝相華文やそこからのびる第1単位の主葉のとりつき位置が異なる。新出の17は324A（16）と類似するため324Bとした。18と19は既存型式に類似品がなく破片なので、型式番号の設定を保留する。各1点出土。顎の形状が平安時代後期に属する。以上は平安時代の軒平瓦である。

20は左巻二巴であるが、300A（21）とは巴の大きさや形が異なるため、20を300Bとした。既報告の「仁治寺薬師寅壬」305型式のほか、同銘で異範の306型式（22）も出土した。この2型式は鎌倉時代の瓦である。

23～26は近世の瓦で薬師寺では新出の型式である。372型式（23）は橘唐草文、373型式（24）は三葉文の葉頭が二又、三又に分かれる。374型式（25）は橘唐草文の軒棧瓦である。375型式（26）は中心文が不明だが、唐草文に特徴があるため新型式とした。

このほか、緑釉で方形の垂木先瓦が2点出土した。胎土の色調は淡褐色を呈し、焼成は軟質、厚さは1.0cmあり、縁辺部が一部残存する。奈良時代の瓦であろう。

本調査で出土した瓦磚の種類と量は表42に示した。奈良時代の創建瓦は他の堂塔と同様に6276A-6641G・H、補足瓦として6304E-6664Oが組む。つぎに軒丸瓦39型式と軒平瓦245・254型式が目立つ。この3型式は寛弘2年（1005）竣工の再建食堂に使用した軒瓦であろう（『概報』）。軒丸瓦42・43型式、軒平瓦240・241・246型式も再建時の瓦である¹⁾。軒平瓦323型式は平安時代後期Ⅲ（1090～1180）、281・285型式も同時期の瓦である²⁾。永万元年（1165）に別当行恵が志した堂塔修造の瓦の可能性はある。しかし、これらと組む軒丸瓦は不明である。

鎌倉時代の軒丸瓦は145型式を筆頭に、102・108～110・113・115・119・123型式がある（『薬師寺報告』）。いずれも巴文の軒丸瓦である。これらに組み合わせる軒平瓦は303・305・306・318型式があげられよう。このうち305・306型式は「仁治壬寅」が仁治3年（1242）なので、このころに屋根の補修があったのだろう。（今井晃樹）

註

- 1・2） 山崎信二「大和における平安時代の瓦生産（再論）」『古代瓦と横穴式石室の研究』2003。



図293 第500次調査出土の新型式の軒瓦（1：4） *は第500次調査以外の参考資料

表42 第500次調査出土瓦磚類集計表

軒丸瓦			軒平瓦			軒棧瓦		軒丸瓦			軒平瓦			軒棧瓦		
	種	点数	型式	種	点数	種類	点数		型式	種	点数	型式	種	点数	種類	点数
6132	A	2	6641	G	58	薬374	1		薬134		1	薬318		3		
6276	Aa	8		H	12	時代不明	1		薬137		1	薬322		3		
	Ab	5		I	1				薬141		1	薬322?		1		
	A	9		?	4	軒棧瓦計	2		薬145		16	薬323		20		
	E	6	6663	F	1				薬145?		1	薬324B		1		
6304	Ea	4		H	1				薬147		3	薬324		1		
	Eb	3		I	1	丸瓦(ヘラ書)	8		薬149		1	薬333		1		
	E	5		?	1	(刻印・中世)	1		薬154B		1	薬352		1		
6307	C	1	6664	O	8	(刻印)	13		薬154		1	薬361		1		
薬006		3	6665	B	1	(刻印?)	1		薬168		1	薬364		3		
薬006?		1	6685	F	1	平瓦(ヘラ書)	4		薬170		1	薬366		1		
薬031		1	6691	A	1	(刻印)	32		薬172		1	薬367?		1		
薬032		1	6701	A	1	隅切平瓦	13		薬173		2	薬368		1		
薬035		1	6719	A	1	鬼瓦	5		薬174		1	薬371		2		
薬036		1	薬226		2	(古代)	1		薬179		2	薬372		1		
薬037B		1	薬236?		1	(中世)	1		薬190		1	薬373		1		
薬038		1	薬237		2	(中世?)	1		薬193		2	薬375		1		
薬039		34	薬239?		1	(近世前半)	1		薬195		1	平安		8		
薬041		1	薬240		4	鬼瓦?	1		薬195?		1	古代		35		
薬042		5	薬241		4	熨斗瓦	9		薬196		1	古代～中世		1		
薬043		3	薬244		6	(近世)	1		薬197		1	中世		5		
薬044		1	薬244?		1	(刻印)	1		食堂038		1	近世		9		
薬047		2	薬245		20	箱熨斗瓦	3		食堂040		2	近世後半		3		
薬047?		2	薬245?		1	面戸瓦	10		巴		11	型式不明(奈良)		17		
薬050		1	薬246		2	雁振瓦(近世)	1		(古代～中世)		1	時代不明		34		
薬053		1	薬254		22	伏間瓦	5		(中世)		23					
薬056		1	薬263		1	伏間瓦?	1		(中世?)		3					
薬064		1	薬263?		1	角棧伏間瓦	1		(中世～近世)		1					
薬068		1	薬267?		1	目板瓦	3		(近世)		9					
薬070		1	薬269		1	烏衾	2		(近世後半)		1					
薬076A		3	薬272		1	(中世)	1		(近世以降)		1					
薬076B		3	薬273A		2	烏衾?	1		平安		27					
薬076C		1	薬273B		1	垂木先(緑釉)	2		古代		43					
薬084		1	薬273C		2	隅木蓋	3		古代～中世		1					
薬085?		1	薬278		1	留蓋	1		中世		9					
薬087		1	薬281A		1	磚	5		中世～近世		2					
薬102		1	薬281B		3	刻み磚	2		近世		7					
薬108		1	薬285		3	敷磚	2		近世(入隅)		1					
薬110		4	薬290		1	瓦製円盤	1		型式不明(奈良)		19					
薬113		3	薬291		4	用途不明道具瓦	24		時代不明		71					
薬115		2	薬294		1	(近世)	1									
薬119		1	薬298		1	凝灰岩	147									
薬123		1	薬300B		1	土管	38		軒丸瓦計		409	軒平瓦計		361	その他計	353
薬128		1	薬303		8	レンガ(近代)	1									
薬129		1	薬303?		2	メダル母范?(現代)	5									
薬131		2	薬305		6											
薬132		1	薬306		6											